

平成 26 年度環境研究総合推進費研究成果発表会の開催について(お知らせ)

環境省は、平成 26 年 10 月 16 日(木)、平成 26 年度環境研究総合推進費研究成果発表会を開催いたします。

本発表会は、環境保全に資することを目的とした政策貢献型の競争的研究資金である環境研究総合推進費により実施され、平成 25 年度に終了した研究課題 98 件のうち、国民の皆様に関わりやすく、かつ、国民の皆様の関心も高いと考えられる 6 課題を選んで、その研究成果の発表を行うものです。

環境研究の最前線に関心をお持ちの皆様、研究成果の活用を検討されている自治体・企業の皆様、環境研究総合推進費への応募をお考えの研究者の皆様など、幅広い方々の御参加をお待ちしております。

1. 日時

平成 26 年 10 月 16 日(木) 13:00~16:30

2. 場所

都道府県会館 1 階 101 大会議室
東京都千代田区平河町 2-6-3

3. 発表プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:00~13:10 | 開会 |
| 13:10~13:40 | 伝統的知識を活かした持続可能なアジア農村社会づくり
(武内和彦:東京大学国際高等研究所 サステイナビリティ学連携研究機構長) |
| 13:40~14:10 | 低炭素でいつまでも暮らしていけるまち
ー街区群ーをデザインする方法
(加藤博和:名古屋大学大学院環境学研究科 准教授) |
| 14:10~14:40 | 日本の人工衛星「いぶき」で、温室効果ガスを高精度にはかる
(森野 勇:(独)国立環境研究所 地球環境研究センター 衛星観測研究室 主任研究員) |
| 14:40~14:55 | 休憩 |
| 14:55~15:25 | 畑作残渣からバイオエタノールを作る
ー有用物質の共生産によるコスト削減ー
(北口敏弘:(地独)北海道立総合研究機構 産業技術研究本部ものづくり支援センター 工業技術支援グループ主査) |
| 15:25~15:55 | 国立公園がニホンジカの密集地帯?
ーシカの生態系への影響把握、季節移動の解明、そして個体数調整に向けてー
(吉田剛司:酪農学園大学 農食環境学群 教授) |
| 15:55~16:25 | 残留性有機フッ素化合物を用いて海洋大循環を探索
(山下信義:(独)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門 上級主任研究員) |
| 16:25~16:30 | 閉会 |

4. 参加の申込方法

申込書に必要事項（お名前、ご所属、連絡先）をご記入のうえ、下記申込先まで電子メール又はFAXにてお申し込み願います。参加費は無料です。

お申し込みが多数の場合には、ご参加いただけない場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

（申込先）

一般社団法人 国際環境研究協会

FAX : 03-5812-2106 E-mail : seika@airies.or.jp （お問合せ TEL : 03-5812-2105）

※取得した個人情報は、本成果発表会の当日受付用のリスト作成に利用し、この目的以外で利用することはありません。

5. その他

発表の様子をビデオ撮影し、後日、環境省HPで公表する予定です。

また、簡単なアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。